

# 数 学

第1問 以下の空欄を適宜埋めよ.

(1)  $8x^4 - 14x^2 + 3$   
 $= (\boxed{\text{ア}}x + \boxed{\text{イ}}) (\boxed{\text{ウ}}x - \boxed{\text{エ}}) (\sqrt{\boxed{\text{オ}}}x + \sqrt{\boxed{\text{カ}}}) (\sqrt{\boxed{\text{キ}}}x - \sqrt{\boxed{\text{ク}}}).$

(2) 直線  $y = -\sqrt{3}x + 1$  と  $y$  軸とのなす鋭角は  $\boxed{\text{ケコ}}^\circ$  である.

(3)  $m$  を定数とする. 放物線  $y = 2x^2 - 4(m-1)x + 8$  を, 原点に関して対称移動して得られる放物線を考える. この放物線の頂点の  $y$  座標の値が正になるのは,  $m < -\boxed{\text{サ}}, \boxed{\text{シ}} < m$  のときである.

(4) データ 0.6, 1.6, 4.9, 5.8, 9.9, 15.2, 17.4, 19.9, 22.9, 24.3 の度数分布表を作る. 階級を 0 から区切り始めたところ, データの最大値は階級値の小さい方から数えて 5 つ目の階級に含まれた. 階級の幅が整数である場合, 考え得る階級の幅は  $\boxed{\text{ス}}$  通りである. また, そのうち階級の幅が最も大きい度数分布表において最大の度数は  $\boxed{\text{セ}}$  である.

(5) 自然数全体を全体集合  $U$  とし,  $U$  の部分集合  $P, Q$  を  $P = \{n \mid n \text{ は } 12 \text{ で割り切れる自然数}\}$ ,  $Q = \{n \mid n \text{ は } 15 \text{ で割り切れる自然数}\}$  とする. 下の選択肢①から⑧までのうちから各空欄に該当するものを選び. 同じものを繰り返し選んでもよい.

i) 3 でも 5 でも割り切れる自然数全体の集合は  $\boxed{\text{ソ}}$  である.

ii) 12 で割り切れるが, 5 では割り切れない自然数全体の集合は  $\boxed{\text{タ}}$  である.

- |                    |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ① $P$              | ② $Q$              | ③ $P \cap Q$       | ④ $P \cup Q$       |
| ⑤ $\bar{P} \cap Q$ | ⑥ $P \cap \bar{Q}$ | ⑦ $\bar{P} \cup Q$ | ⑧ $P \cup \bar{Q}$ |

第2問 以下の空欄を適宜埋めよ.

- (1) 1円硬貨6枚, 5円硬貨3枚, 100円硬貨3枚の合計12枚の硬貨がある.

この中から少なくとも1枚の硬貨を使ってちょうど支払える金額は  通りある.

- (2)  $a, b$  を定数とする.  $x$  についての3つの2次方程式

$$x^2 + (1-a)x - a = 0,$$

$$2x^2 - (8+b)x + 4b = 0,$$

$$3x^2 - (a+6b)x + 2ab = 0,$$

には, 正の共通の解が一つある. このとき,  $a =$  ,  $b =$   である.

- (3)  $\triangle ABC$  の辺  $AB$  を  $4:9$  に内分する点を  $R$ , 辺  $AC$  を  $4:1$  に内分する点を  $Q$  とする. 線分  $BQ$  と線分  $CR$  の交点を  $O$ , 直線  $AO$  と辺  $BC$  の交点を  $P$  とする. このとき,  $BP:PC =$    $:1$  である.

第3問 以下の空欄を適宜埋めよ.

- (1) 中心が第1象限にあり半径が5の円  $C$  と円  $x^2+y^2=9$  との2つの共有点を通る直線の方程式が  $4x+6y=3$  であるとき, 円  $C$  の中心の  $x$  座標は

$\frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$

である.

- (2)  $m$  を定数とする. 2次方程式  $2x^2+3x+m=0$  の2つの解の積が  $-1$  である

のは,  $m = -\boxed{\text{オ}}$  のときであり, 2つの解は  $-\boxed{\text{カ}}, \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}$  である.

- (3)  $(2x-3y)^6$  の展開式における  $x^4y^2$  の項の係数は  $\boxed{\text{ケコサシ}}$  である.

- (4) 方程式  $25^x+2\cdot 5^{x+1}-75=0$  の解は  $x = \boxed{\text{ス}}$  である.